

2 結婚観について

問8 あなたは結婚についてどう思いますか。あなたのお考えをお聞きます。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

■ そう思う ▣ やや思う □ やや思わない □ そう思わない ≡ 分からない ▨ 未回答

a. 結婚することは自然で幸せである



b. 経済的に結婚した方が安定した生活ができる



c. 結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい



d. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



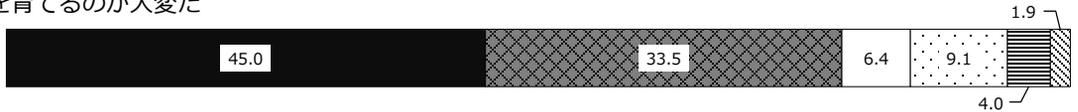
e. 結婚しなくても、子どもは欲しい



f. 結婚していても相手に満足できないときは離婚してもよい



g. 子どもを育てるのが大変だ



h. 子どもを育てるのが楽しみだ



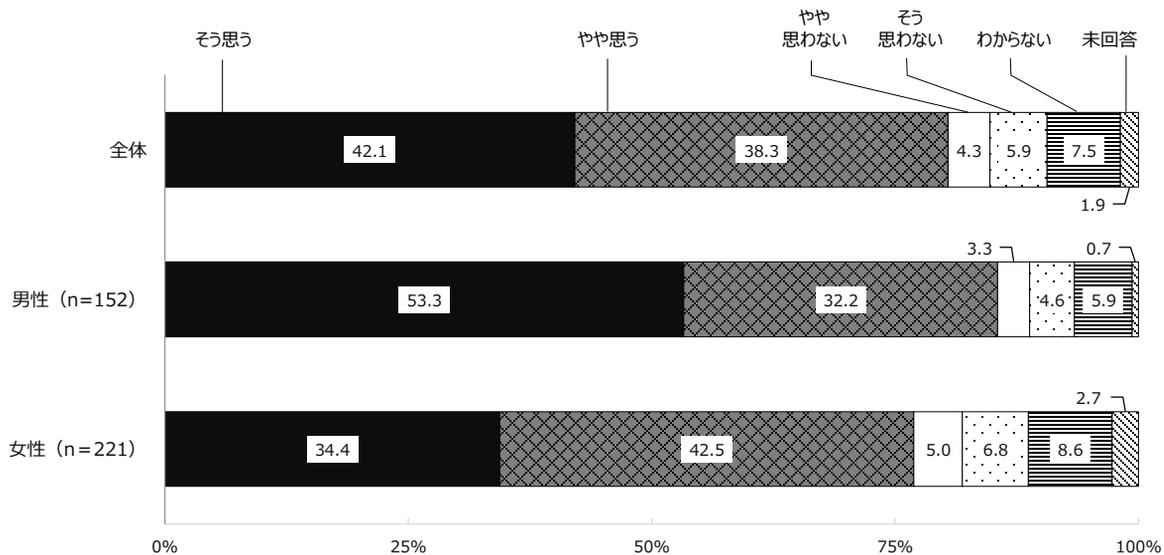
i. 自分に合った相手に巡り会うことが難しい時代である



j. 異性と知り合うゆとりや機会が少ない社会環境である



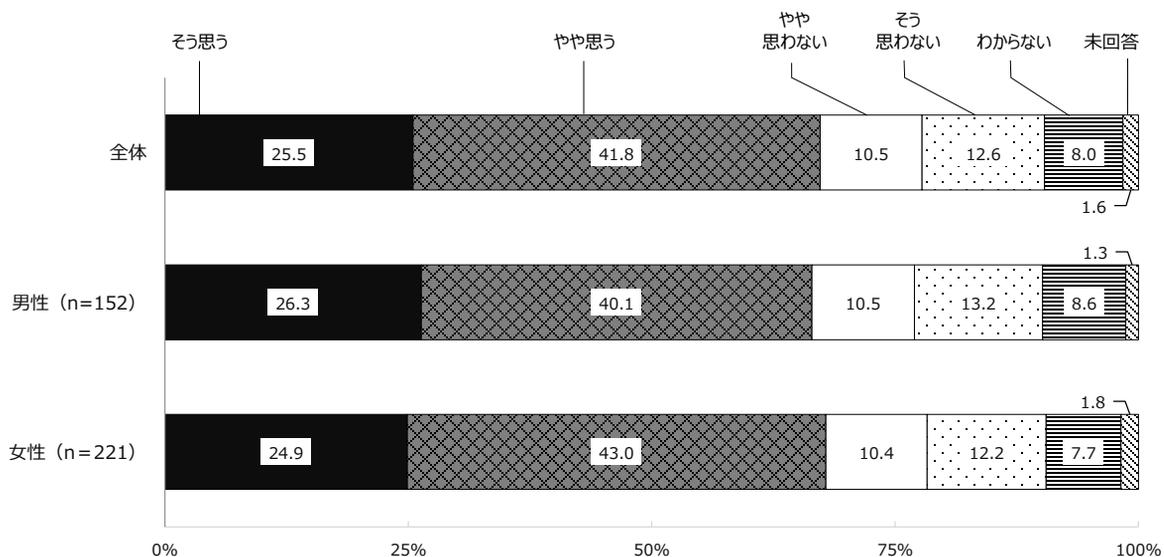
a. 結婚することは自然で幸せである



『結婚することは自然で幸せである』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が80.4%、「そう思わない」「やや思わない」が10.2%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（76.9%）の方が男性（85.5%）より、8.6ポイント低くなっている。

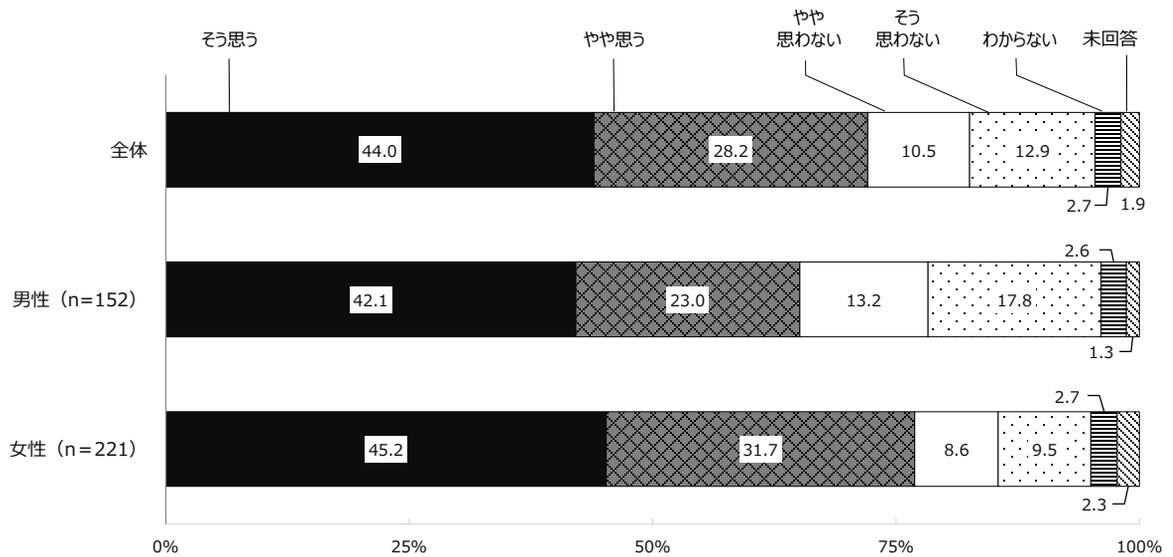
b. 経済的に、結婚した方が安定した生活ができる



『経済的に、結婚した方が安定した生活ができる』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が67.3%、「そう思わない」「やや思わない」が23.1%となっている。

性別による回答の格差はほとんど見られない。

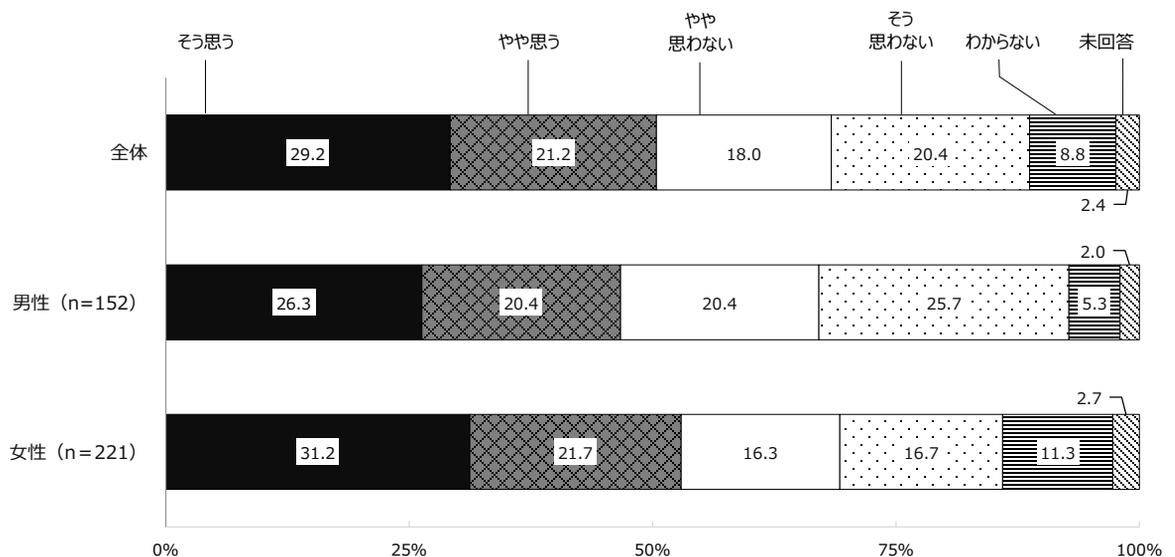
c. 結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい



『結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が72.2%、「そう思わない」「やや思わない」が23.4%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（76.9%）の方が男性（65.1%）より、11.8ポイント高くなっている。

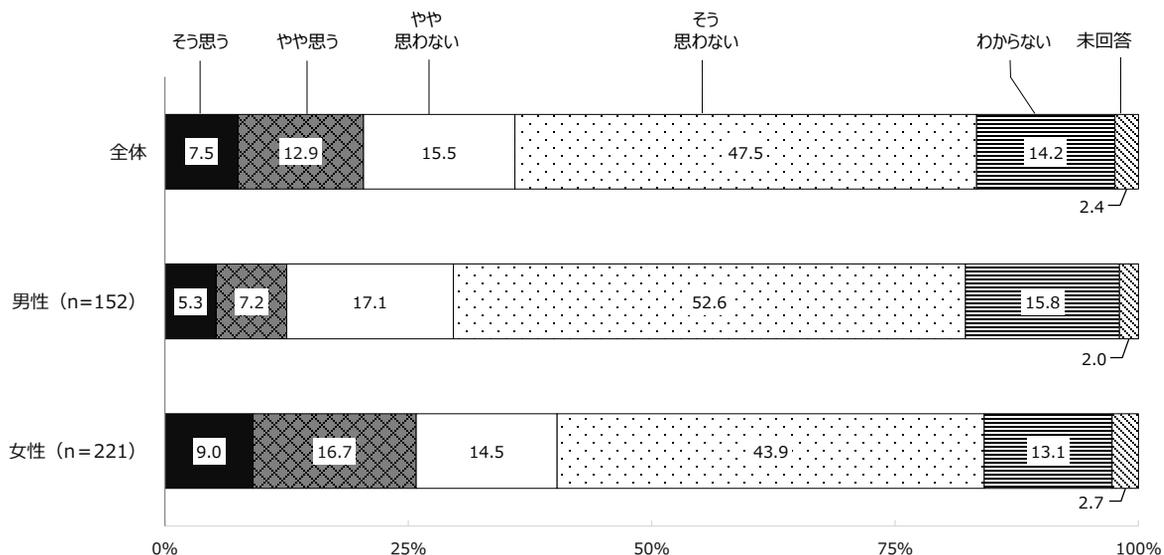
d. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



『結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が50.4%、「そう思わない」「やや思わない」が38.4%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（52.9%）の方が男性（46.7%）より6.2ポイント高くなっている。

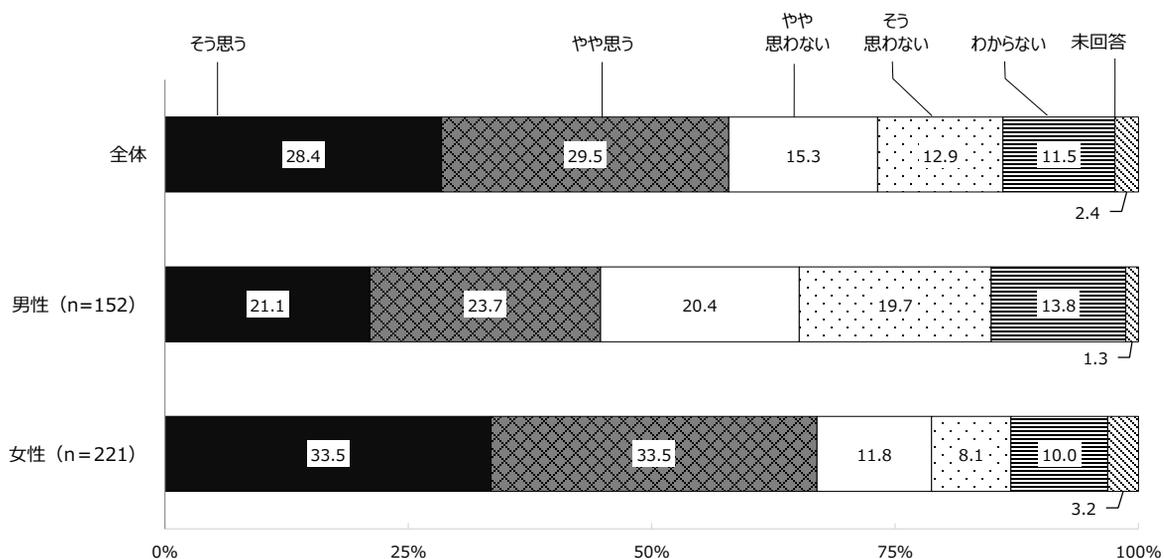
e. 結婚しなくても、子どもは欲しい



『結婚しなくても、子どもは欲しい』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が20.4%、「そう思わない」「やや思わない」が63.0%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（25.7%）の方が男性（12.5%）より、13.2ポイント高くなっている。

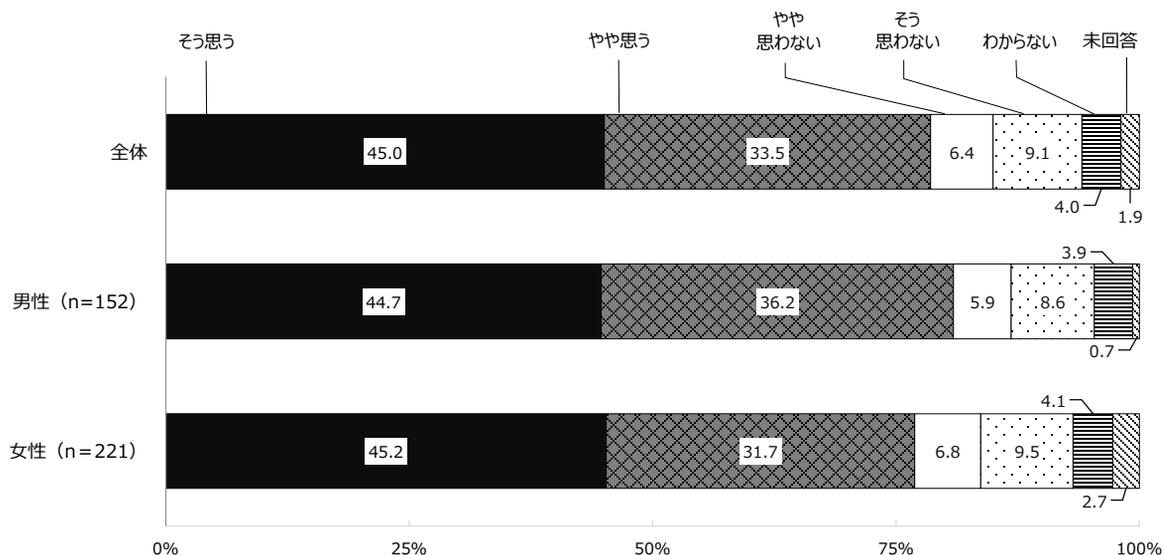
f. 結婚していても相手に満足できないときは離婚してもよい



『結婚していても相手に満足できないときは離婚してもよい』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が57.9%、「そう思わない」「やや思わない」が28.2%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（67.0%）の方が男性（44.8%）より、22.2ポイント高くなっている。

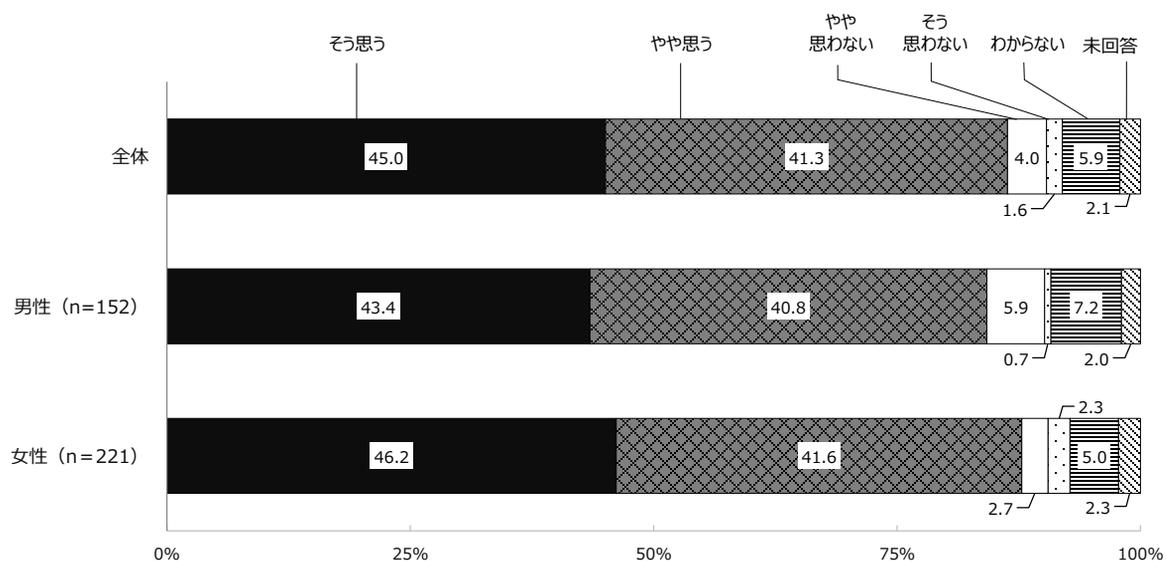
g. 子どもを育てるのが大変だ



『子どもを育てるのが大変だ』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が78.5%、「そう思わない」「やや思わない」が15.5%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（76.9%）の方が男性（80.9%）より、4.0ポイント低くなっている。

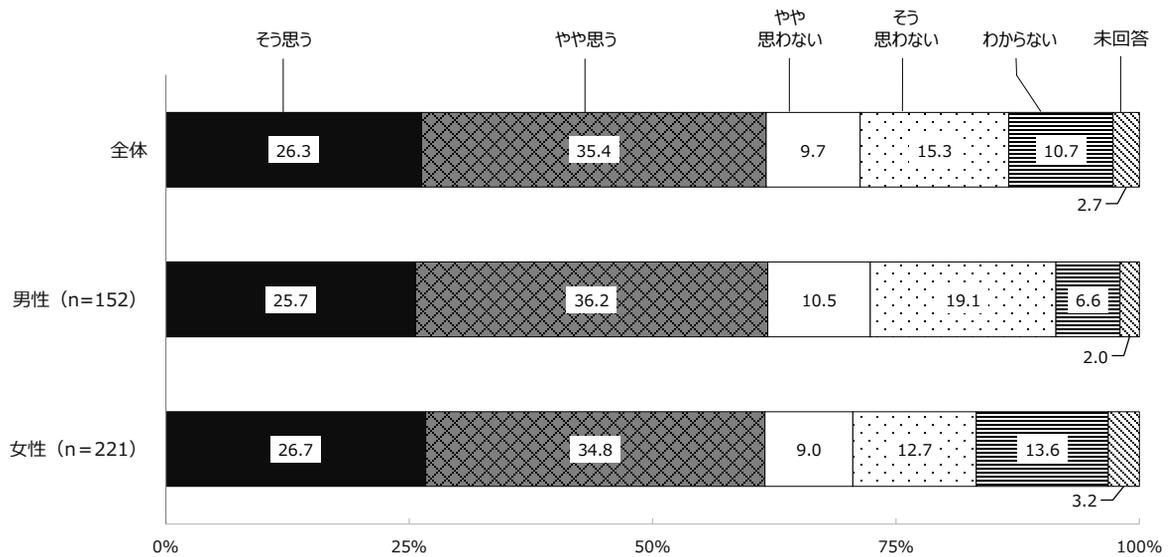
h. 子どもを育てるのが楽しみだ



『子どもを育てるのが楽しみだ』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が86.3%、「そう思わない」「やや思わない」が5.6%となっている。

性別による回答の格差はほとんどみられない。

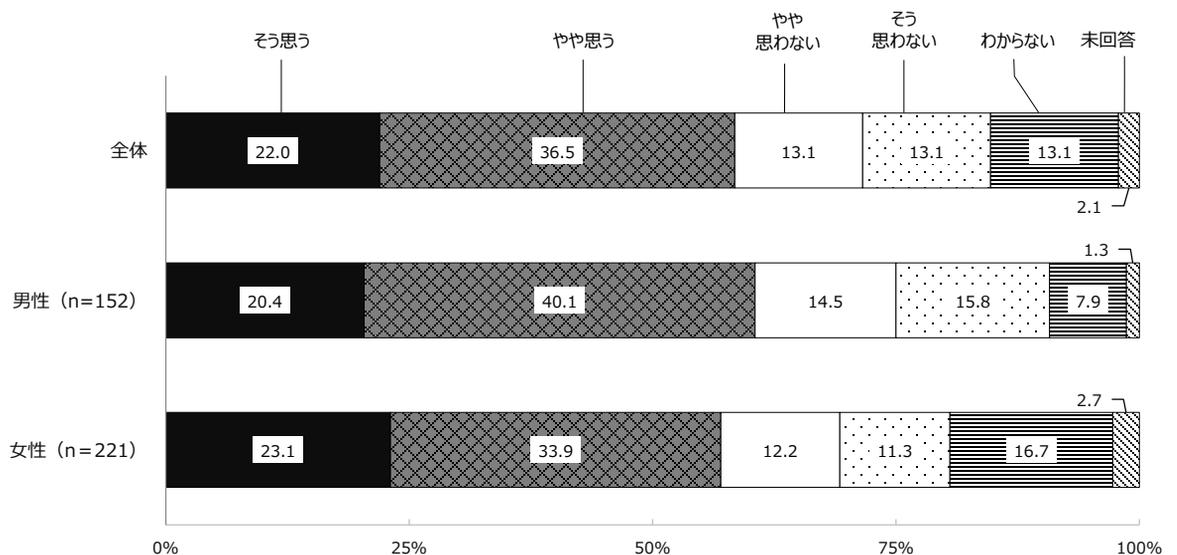
i. 自分に合った相手にめぐり会うことが難しい時代である



『自分に合った相手にめぐり会うことが難しい時代である』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が61.7%、「そう思わない」「やや思わない」が25.0%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」はほぼ同数であったが、「そう思わない」「やや思わない」は女性（21.7%）の方が男性（29.6%）より7.9ポイント低くなっている。

j. 異性と知り合うゆとりや機会が少ない社会環境である

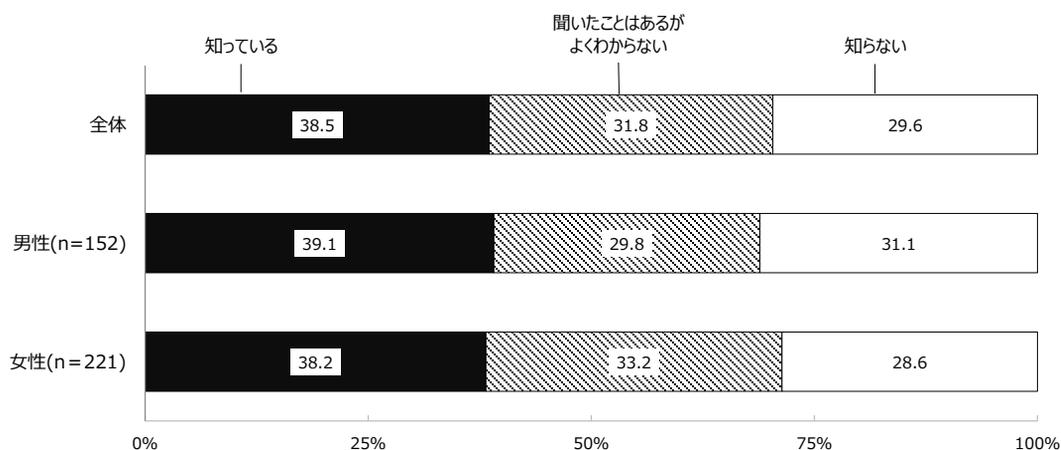


『異性と知り合うゆとりや機会が少ない社会環境である』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が58.5%、「そう思わない」「やや思わない」が26.2%となっている。

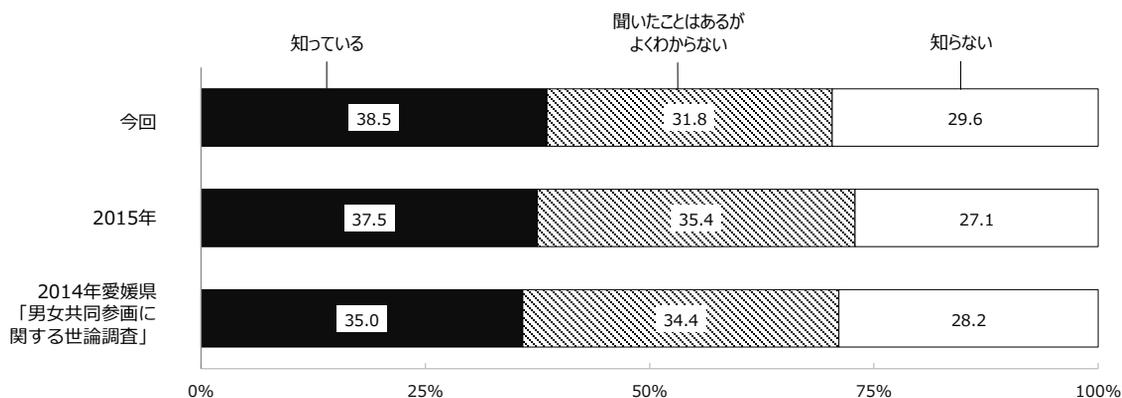
性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は大きな格差はないが、「そう思わない」「やや思わない」は女性（23.5%）の方が男性（30.3%）より6.8ポイント低くなっている。

3 「男女共同参画社会」について

問9 あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。



▶過去の調査との比較

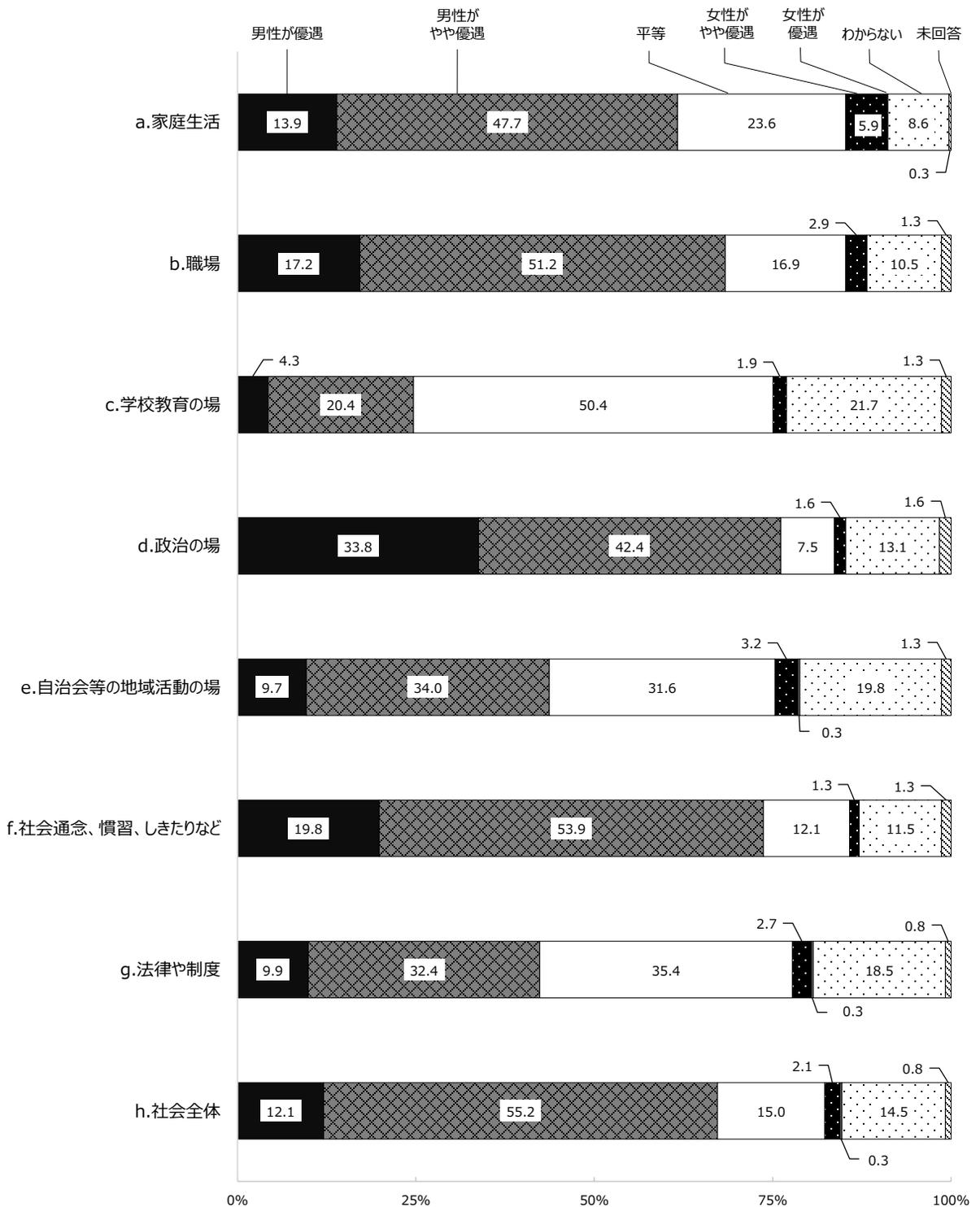


「男女共同参画社会」という言葉の認知度について、「知っている」と回答した割合は38.5%で、2015年から1.0ポイント増加している。「知らない」と回答した割合は29.6%で2015年から2.5ポイント増加している。

男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会のことです。

問10 あなたは次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

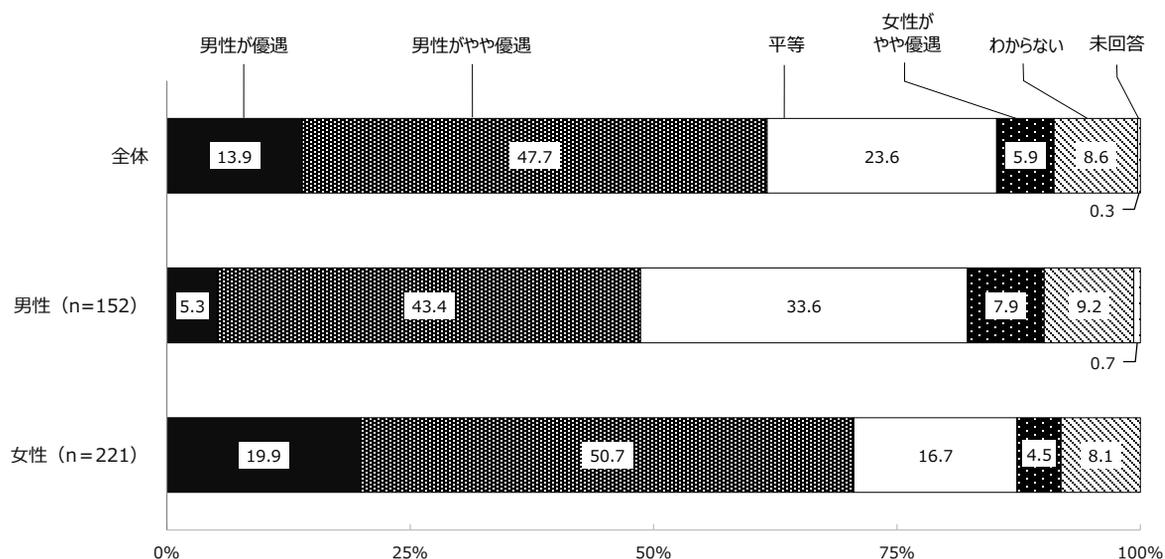


『家庭生活』『職場』『政治の場』『社会通念、慣習』の分野において、半数以上が「男性の方が優遇されている」と回答している。

『社会全体』においては、67.3%が「男性の方が優遇されている」と回答しており、「平等」と回答したのは15.0%であった。

『学校教育の場』の分野では、約半数が「平等」と回答している。

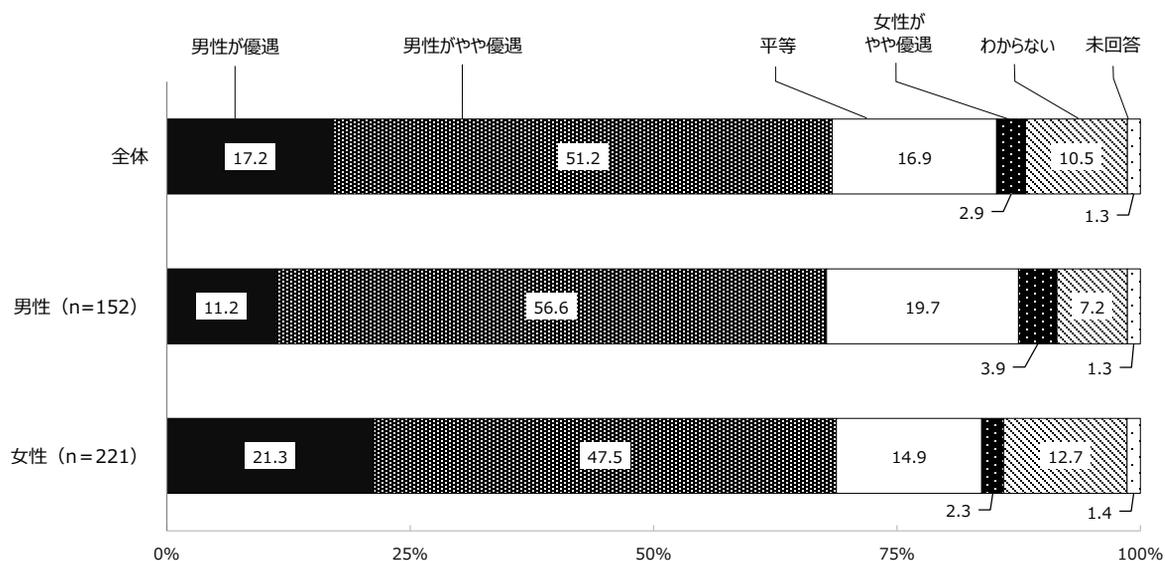
a. 家庭生活



家庭生活における男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が61.6%、「平等」が23.6%、「女性の方が優遇されている」が5.9%となっている。

性別で見ると、「男性の方が優遇されている」は女性（70.6%）が男性（48.7%）より、21.9ポイント高くなっている。

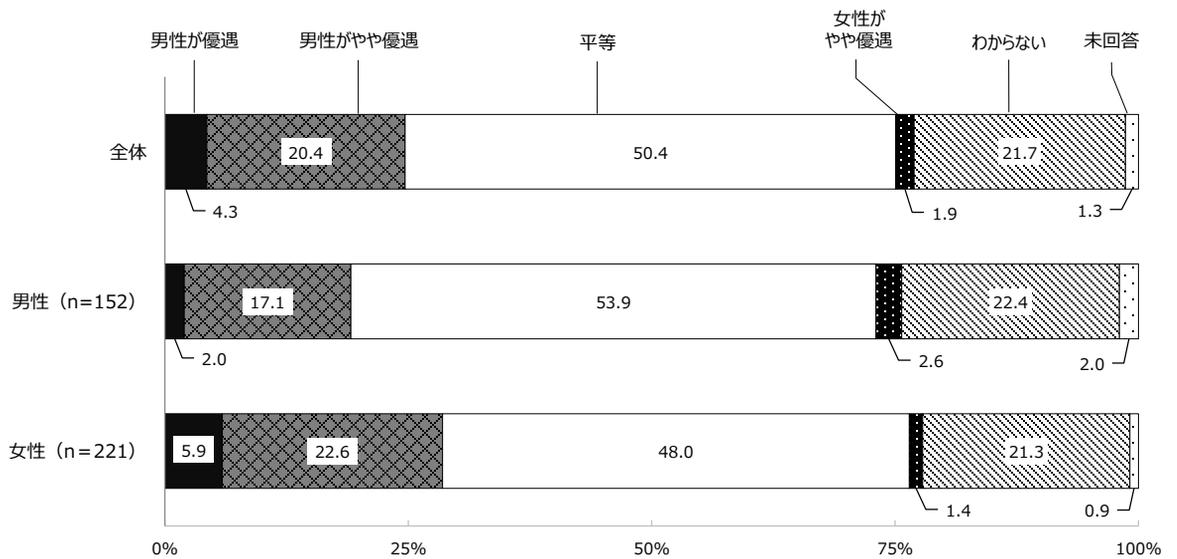
b. 職場



職場における男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が68.4%、「平等」が16.9%、「女性の方が優遇されている」が2.9%となっている。

性別で見ると、「平等」だと感じているのは男性（19.7%）の方が、女性（14.9%）より4.8ポイント高くなっている。

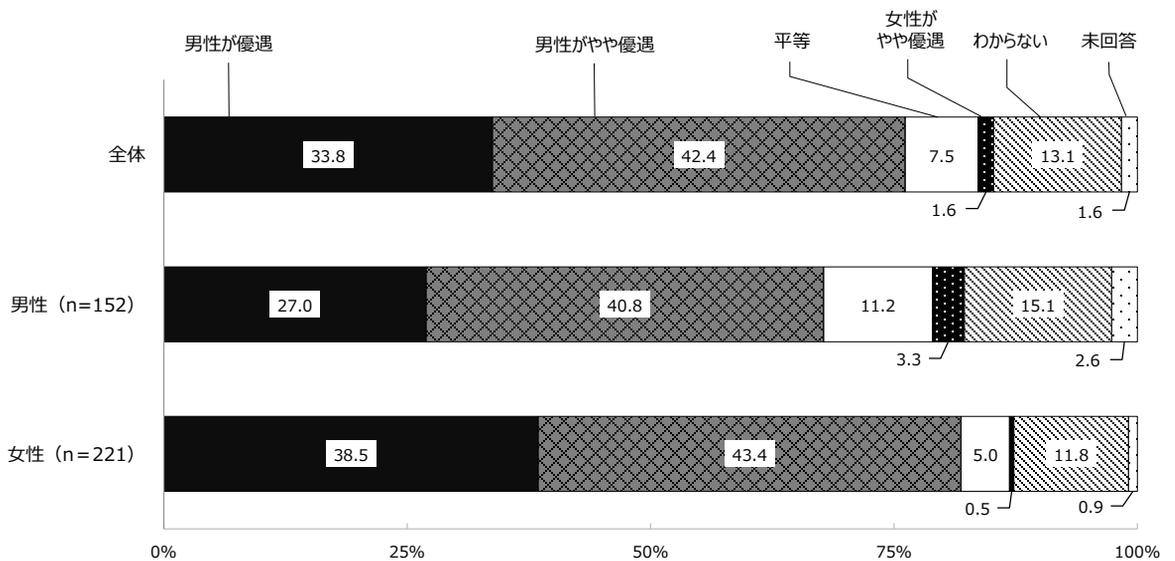
c. 学校教育の場



学校教育の場における男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が24.7%、「平等」が50.4%、「女性の方が優遇されている」が1.9%となっている。

性別で見ると、「平等」は女性（48.0%）の方が男性（53.9%）より5.9ポイント低くなっている。

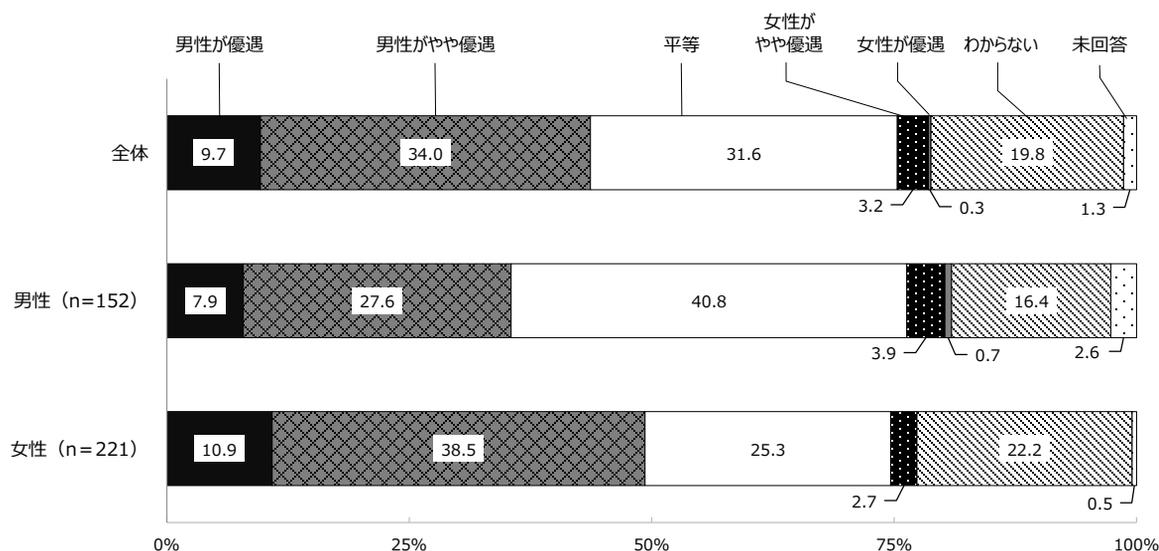
d. 政治の場



政治の場における男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が76.2%、「平等」が7.5%、「女性の方が優遇されている」が1.6%となっている。

性別で見ると、「平等」だと感じているのは男性（11.2%）の方が、女性（5.0%）より6.2ポイント高くなっている。

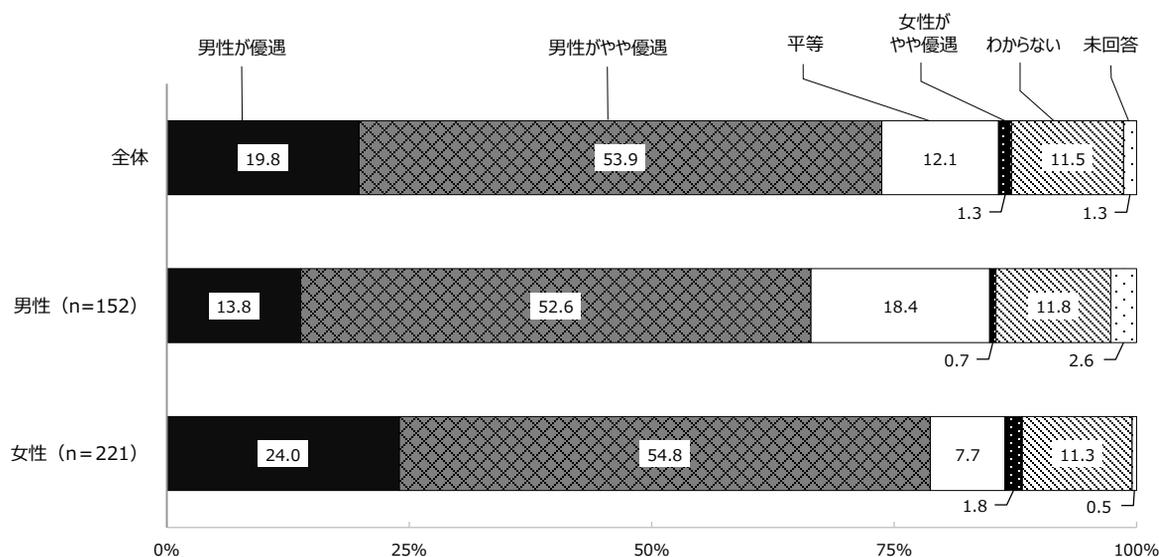
e. 自治会等の地域活動の場



自治会等の地域活動の場における男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が43.7%、「平等」が31.6%、「女性の方が優遇されている」が3.5%となっている。

性別で見ると、「平等」だと感じているのは女性（25.3%）の方が、男性（40.8%）より15.5ポイント低くなっている。

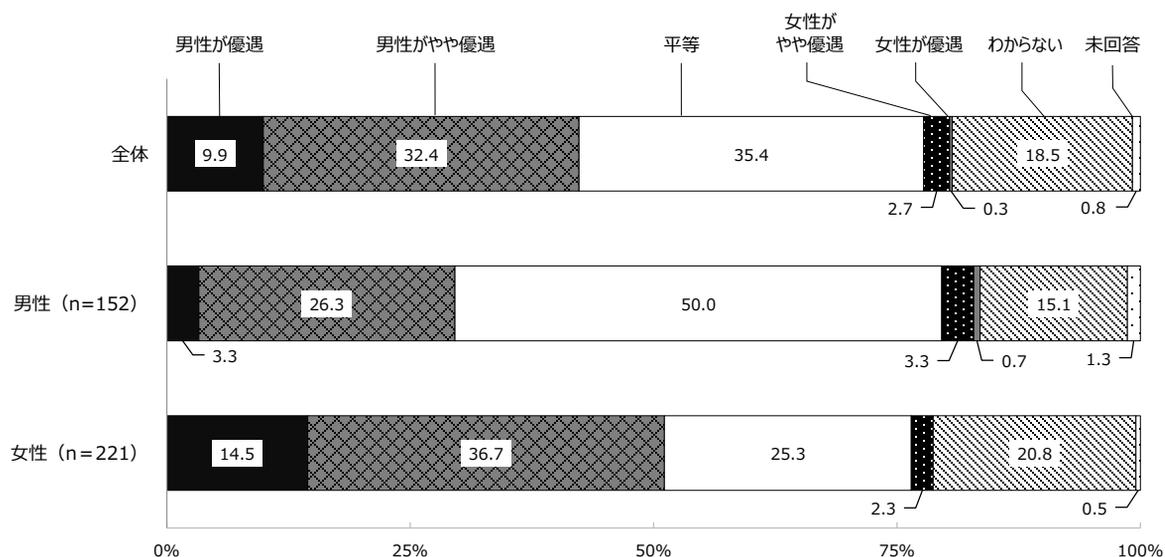
f. 社会通念、慣習、しきたりなど



社会通念、慣習、しきたりなどにおける男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が73.7%、「平等」が12.1%、「女性の方が優遇されている」が1.3%となっている。

性別で見ると、「平等」だと感じているのは女性（7.7%）の方が、男性（18.4%）より10.7ポイント低くなっている。

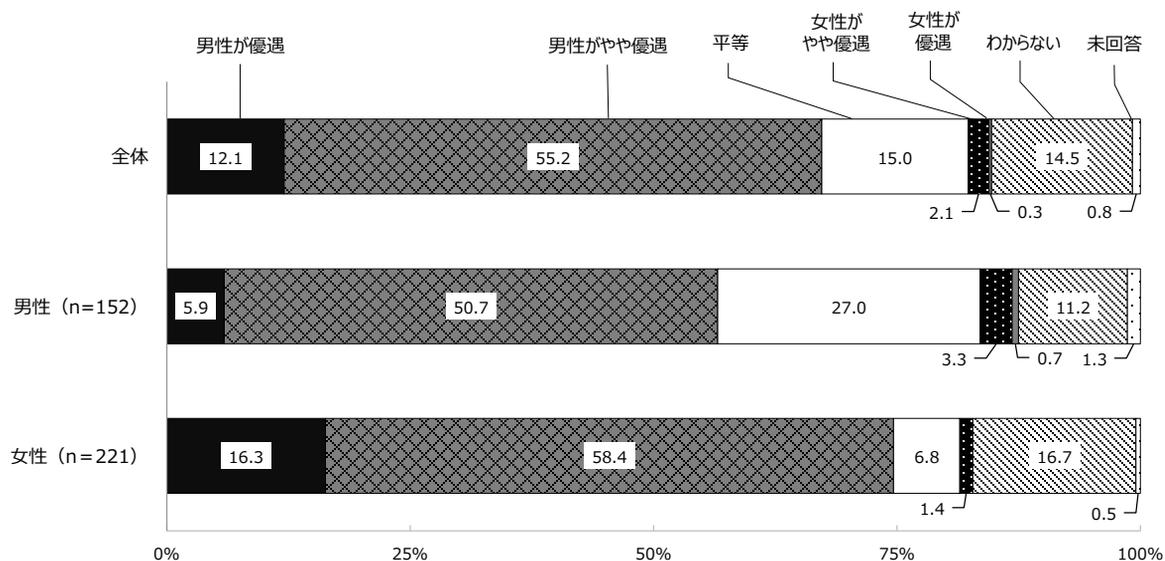
g. 法律や制度



法律や制度における男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が42.3%、「平等」が35.4%、「女性の方が優遇されている」が2.7%となっている。

性別で見ると、「平等」だと感じているのは女性（25.3%）が、男性（50.0%）の半数となっており、女性の51.2%は「男性の方が優遇されている」と感じている。

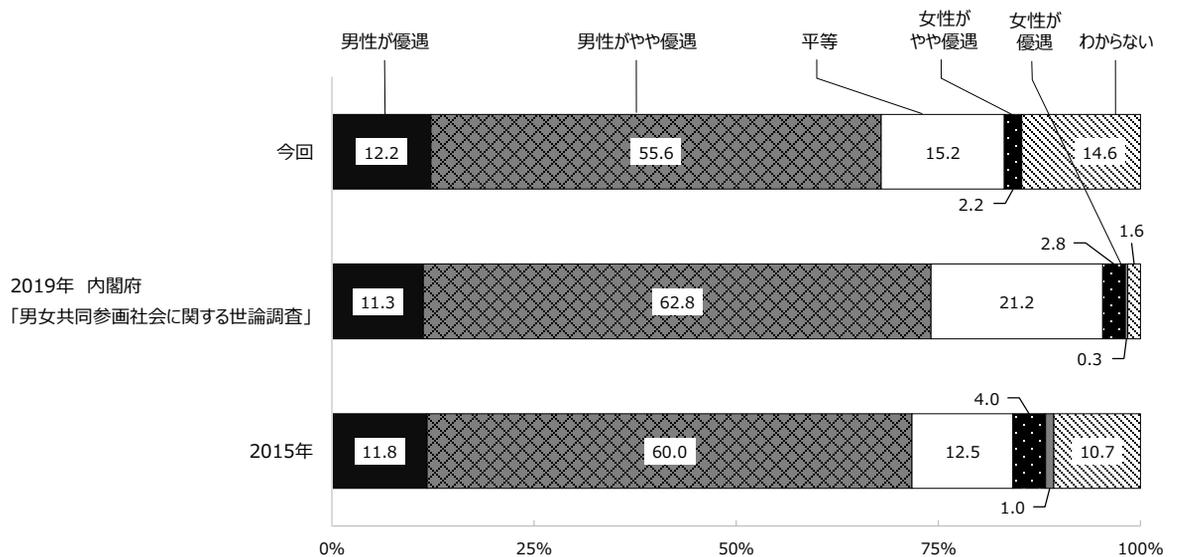
h. 社会全体



社会全体における男女の地位の平等について、「男性の方が優遇されている」が67.3%、「平等」が15.0%、「女性の方が優遇されている」が2.4%となっている。

性別で見ると、「平等」だと感じているのは女性（6.8%）の方が、男性（27.0%）より20.2ポイント低くなっている。

▶社会全体における男女の地位の平等について過去の調査との比較



2015年に実施した意識調査と2019年に内閣府が実施した世論調査の結果と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した割合はほぼ同等程度であった。

「平等」だと感じている割合は、2015年の割合と比較した場合2.7ポイント増加しているが、内閣府の世論調査と比較した場合、6.0ポイント少なくなっている。

ジェンダー

ジェンダーとは、「社会的・文化的に形成された性別」のことです。

人間には生まれつきの生物学的性別（セックス/sex）があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作りあげられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー/gender）」といいます。

「社会的・文化的に形成された性別」はそれ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われています。

LGBT

LGBTとは、「レズビアン/Lesbian」「ゲイ/Gay」「バイセクシャル/Bisexual」「トランスジェンダー/Transgender」の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われることがあります。

※「性的指向/Sexual Orientation」と「性自認/Gender Identity」の頭文字をとった「SOGI」との表現もあります。